

ばばだめ！  
JTサンダーズ広島

久原 大輝

2024年に入り4試合勝ち星から遠ざかっていた中で、20日からのホームゲーム・ジエイトクト戦を迎えた。第1セットは相手の巧打に翻弄され、セットを落とす苦しい展開になる。この嫌なムードを払拭してくれたのが、金子聖輝選手だった。今季は前田一誠選手の加入

## 金子選手 流れ変えた

もあり、出場機会が減った。金子選手自身もこの現状には全く納得していないだろう。そんな中でも、日頃の練習や試合中のベンチで、試合に出て活躍するための準備を怠ることは一切なかった。

この試合では毎セット途中から出場し、持ち味でもある総合力の高さを随所に披露。高い位置でのトスアップから各スパイカーへ打ちやすいトスを供給。サーブでもコースを的確に突き、チームに流れを大きく引き寄せた。

2セット目以降、チームも落ち着きを取り戻し、24年初勝利を飾った。サンダーズの層の厚さを十分発揮できたナイスゲームといえるだろう。この試合のMVPを金子選手が坂下純也選手とともに受賞。インタビューでは「最高でーす」を連呼し、会場を大いに盛り上げてくれた。

2月の1週目は試合がないが、それ以降は大事な試合が続く。ファイナル出場、さらにその先を見据え戦いたい。

(JT広島マネジャー)

ガッツポーズで喜ぶ金子選手  
＝手前左 (20日)

